

# 仏教の言葉を知ろう！

## 『因果応報』

いんが おうほう

今回は「因果応報」という言葉を取り上げます。

聞いたことはある方も多いかと思いますが、これも仏教の言葉です。もしかすると悪いイメージが思い浮かぶかもしれません。

この言葉は、

『自分の行いは、  
それに応じた  
報（むく）いが  
必ず来る』

という意味です。

私たちは、毎日多くの物事を決めて動いています。

この時、自分の知識や経験をもとに「正しい」とか「適当だ」という選択をします。

でも、自分にとっては正しくて、ほかの人にとつては、正しくないことも。

時には怒らせたり、悲しませたりすることも・・・。

\*\*\*\*

仏様は、

「相手を喜ばせる人は自分も喜ばせてもらえ、怒らせた人は自分も怒られ恨まれる。幸せを与えた人は不幸になり、不幸にした人は不幸になる」と説きます。

\*\*\*\*

これが『因果応報』です。

また「覆水盆に返らず」と

申します。やってしまったことは取り返しがつきません。好ましくないことをしてしまった時にはどうしたら良いのでしょうか？

\*\*\*\*

それは「反省」することです。「反省」は、失敗から学んで、同じことを繰り返さないこと。

相手を怒らせたならば、素直に「反省」をし、同じことはしない。今度は少しでも喜んでもらおうと努力する。これが大切です。

\*\*\*\*

毎日振り返ると、自分のことで精いっぱい。周りへの配慮する余裕がないこともあるで

返ると、皆自分のことで精いっぱい。周りへの配慮する余裕がないこともあるで



返ると、皆自分のことで精いっぱい。周りへの配慮する余裕がないこともあるで



しょう。でもそうであっても、気にかけているだけでも違います。あきらめないでください。

ちなみに「因果応報」は努力や勉強にも当てはまりません。努力や勉強は、何一つ無駄にはなりません。必ず自分に返ってきます。幸せな未来に向かって、一日一歩でも前に進みましょう。

合掌